
ファイヤーロード

キャンプファイヤーは、演出ひとつで児童・生徒たちの思い出に残るものにすることができます。大いに盛り上がったキャンプファイヤーの締めくくりは、ファイヤーロード～火の道～を通りながら、児童・生徒たちが自己を見つめなおし、心の成長を促すことでしょう。

- 《 対象季節 》…キャンプファイヤーを行える期間
- 《 対象学年 》…4年生以上
- 《 時間 》…退場時
- 《 活動場所 》…運動広場へ降りる坂道
- 《 持ち物 》…灯油500mlを入れたペットボトル1本
ロープ（ジョイフル本田「ピニロン金剛打ロープ」
12mmを1m。※1m=約245円



《 準備 》

- (1) キャンプファイヤー場に児童・生徒が入場した後のほうが効果的。暗くなってから、坂道の両サイドにトーチを設置する。
- (2) 第3部の終了に合わせて、トーチに着火する。
- (3) 児童・生徒が退場した後、トーチの火を消す。
- (4) 十分温度が冷えたら、トーチを片付ける。

(基本的に指導員がファイヤーロードを設置します。着火や片付け等ご協力いただければと思います！)

《 備考 》

キャンプファイヤーの第3部で、感動を促す時間を設け、ただ歩かせるだけではなく一人ひとりに何かを感じさせる工夫をされたい。

《 その他 》

自分でロード用のトーチを作成する場合は以下を参照

- (1) 350mlのアルミの空き缶の上部を、缶切りで取る。
- (2) 転がらないよう、缶の底部に石などをいれ、重石にする。
- (3) 紙おむつの吸水部分に少し灯油を湿らせる。
- (4) 湿らせた部分が缶の上部から出るようにして缶につめる。
- (5) 着火。

※アルミ缶は表面の塗装を削ったり、着色などしてもよい。

※灯油の扱いは、必ず大人がすること。着火する直前に湿らせたほうがよい。

※使用後の紙おむつは、燃えるごみとして出せるが、十分熱が冷めてから回収すること。

※重石にした石などは、自然の家で捨てないこと。